

仲道郁代 プロフィール

デビュー30周年を迎える2016/2017シーズンは、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団とのツアーを行ったほか、ショパンとチャイコフスキーの協奏曲の記念コンサート(東京・兵庫)、記念リサイタル(全国各地)、ブラームスとショパンの人生から描いた演劇とのコラボレーション企画(全国7公演)などを実施。2016年にはCD『ショパン：ワルツ』『永遠のショパン』、2017年3月にはショパンのリサイタルを収録したDVDを、9月にCD『シューマン：ファンタジー』をリリース。

桐朋学園大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール/ピアノ部門第1位、あわせて増沢賞を受賞。文化庁在外研修員としてミュンヘン国立音楽大学に留学。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベト王妃国際音楽コンクール5位と受賞を重ね、国内でも村松賞、モービル音楽奨励賞を受賞した。これまでに、マゼール指揮ピツパーグ響、バイエルン放響、フィルハーモニア管、ズッカーマン指揮イギリス室内管(ECO)、ブルゴス指揮ベルリン放響、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルなどと共演。カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニーホール、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニーホールなどでもコンサートを行ってきた。2005年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城で行われたイギリス室内管弦楽団(ECO)主催の「結婚祝祭コンサート」に出演し称賛された。

レコーディングはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、多数のCDを発表。著作に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)などがある。一般財団法人地域創造理事、大阪音楽大学特任教授、桐朋学園大学教授。テレビ番組、新聞、雑誌などメディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。

仲道郁代 オフィシャルホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

【番組情報】

「仲道郁代 ロマンティックなピアノ」

毎週金曜日 23:55~24:00 BSフジにて全国放送

http://www.bsfuji.tv/nakamichi_ikuyo/pub/index.html